

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
レディミクストコンクリート試験	<p>試験方法規格 JIS A 1101 「コンクリートのスランプ 試験方法」 JIS A 1128 「フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法—空気室圧力方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 9.3、9.5 JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7 a)、6.1.7 b)、6.1.7 h)、6.1.7 i)</p>
骨材試験	<p>試験方法規格 JIS A 1102 「骨材のふるい分け試験方法」 JIS A 1103 「骨材の微粒分量試験方法」 JIS A 1104 「骨材の単位容積質量及び実績率試験方法」 JIS A 1105 「細骨材の有機不純物試験方法」 JIS A 1109 「細骨材の密度及び吸水率試験方法」 JIS A 1110 「粗骨材の密度及び吸水率試験方法」 JIS A 1116 「フレッシュコンクリートの単位容積質量試験方法及び空気量の質量による試験方法（質量方法）」 JIS A 1121 「ロッセルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法」 JIS A 1122 「硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法」 JIS A 1134 「構造用軽量細骨材の密度及び吸水率試験方法」 JIS A 1135 「構造用軽量粗骨材の密度及び吸水率試験方法」 JIS A 1137 「骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法」 JIS A 1145 「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）」 JIS A 1146 「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタル法）」 JIS A 1205 「土の液性限界・塑性限界試験方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 5001 「道路用砕石」 5.2、5.3、5.4、5.5 JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」 5.6、5.7、5.8、5.9、5.10、5.11、5.13 JIS A 5005 「コンクリート用砕石及び砕砂」 6.2、6.3、6.4、6.5、6.6、6.7、6.8 JIS A 5011-1 「コンクリート用スラグ骨材—第1部：高炉スラグ骨材」 5.3 a)、5.3 b)、5.4、5.7 JIS A 5011-2 「コンクリート用スラグ骨材—第2部：フェロニッケルスラグ骨材」 5.3、5.4、5.5、5.6 JIS A 5011-3 「コンクリート用スラグ骨材—第3部：銅スラグ骨材」 5.3、5.4、5.5、5.6 JIS A 5011-4 「コンクリート用スラグ骨材—第4部：電気炉酸化スラグ骨材」 5.3、5.4、5.5、5.6 JIS A 5015 「道路用鉄鋼スラグ」 6.4、6.5、6.7、6.8 JIS A 5021 「コンクリート用再生骨材 H」 7.7 JIS A 5031 「一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」 5.5、5.6、5.7、5.8、5.9、5.10 JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 附属書 A の A.10 a)、A.10 b)、A.10 c)、A.10 d)、A.10 e)、A.10 f)、A.10 g)、A.10 h)、A.10 j)、A.10 k)、A.10 l)、A.10 p)、A.10 q)</p>
コンクリート・セメント等無機系材料強度試験	<p>試験方法規格 JIS A 1106 「コンクリートの曲げ強度試験方法」（ただし、3. a)を除く） JIS A 1108 「コンクリートの圧縮強度試験方法」（ただし、3. a)、附属書 1 を除く） JJIS R 5201 「セメントの物理試験方法」 10.</p>

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
コンクリート・セメント等 無機系材料強度試験	<p>これらを引用する規格</p> <p>JIS A 1107 「コンクリートからのコア及びはりの切取り方法並びに強度試験方法」 7.</p> <p>JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」 5.14 f)</p> <p>JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 9.2.1、9.2.2</p> <p>JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」 附属書 A の A.5.1、附属書 B の B.5.1、附属書 C の C.5.1、附属書 D の D.5</p> <p>JIS A 5372 「プレキャスト鉄筋コンクリート製品」 附属書 A の A.6.1、附属書 B の B.6.1、附属書 C の C.6.1、附属書 D の D.6.1、附属書 E の E.6.1、附属書 F の F.6.1、附属書 G の G.6.1</p> <p>JIS A 5373 「プレキャストプレストレストコンクリート製品」 附属書 A の A.6.1、附属書 B の B.6.1、附属書 C の C.6.1、附属書 D の D.6.1、附属書 E の E.6.1</p> <p>JIS A 6202 「コンクリート用膨張材」 7.5</p> <p>JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7 e)</p> <p>JIS A 6205 「鉄筋コンクリート用防せい剤」 5.3.6 d)</p> <p>JIS A 6511 「空洞プレストレストコンクリートパネル」 9.2</p> <p>JIS R 5210 「ポルトランドセメント」 6.1</p> <p>JIS R 5211 「高炉セメント」 6.1</p> <p>JIS R 5212 「シリセメント」 6.1</p> <p>JIS R 5213 「フライアッシュセメント」 6.1</p>
コンクリート用化学混和剤試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 1123 「コンクリートのブリーディング試験方法」</p> <p>JIS A 1147 「コンクリートの凝結時間試験方法」</p> <p>JIS A 1148 「コンクリートの凍結融解試験方法」</p> <p>JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 附属書 1、附属書 2</p> <hr/> <p>これらを引用する規格</p> <p>JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7 c)、6.1.7 d)、6.1.7 g)、6.2、6.3</p>
形状・寸法・質量・密度試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS A 1129-1 「モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法—第 1 部：コンパレタ方法」</p> <p>JIS A 5208 「粘土がわら」 5.2</p> <p>JIS A 5402 「プレセメントがわら」 7.2</p> <p>JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.3</p> <p>JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.2</p> <hr/> <p>これらを引用する規格</p> <p>JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」 6.1.7 f)</p>
セメント・混和剤(材)試験	<p>試験方法規格</p> <p>JISR 5201 6.、7.、8.、9.、11.</p> <hr/> <p>これらを引用する規格</p> <p>JISR 5210 「ポルトランドセメント」 6.1</p> <p>JISR 5211 「高炉セメント」 6.1</p> <p>JISR 5212 「シリセメント」 6.1</p> <p>JISR 5213 「フライアッシュセメント」 6.1</p> <p>JISR 5214 「エコセメント」 7.1</p>

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
石灰・セメント・ガラス化学分析試験	<p>試験方法規格 JIS A 5002 「構造用軽量コンクリート骨材」 5.5</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 5308 「レディミクストコンクリート」 附属書 A の A.10. r)</p>
建築構成部材防・耐火試験	<p>試験方法規格 JIS A 1301 「建築物の不燃構造部分の防火試験方法」 JIS A 1302 「建築物の不燃構造部分の防火試験方法」 JIS A 1304 「建築構造部分の耐火試験方法」 JIS A 1311 「建築用防火戸の防火試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格 JIS A 5801 「建築用防火木材」 4.2.2 JIS A 6501 「建築用構成材（コンクリート壁^ハネル）」 7.3.5 JIS A 6503 「建築用構成材（鉄鋼系壁^ハネル）」 7.3.8 JIS A 6504 「建築用構成材（木質壁^ハネル）」 7.3.8</p>
建築材料難燃性試験	<p>試験方法規格 JIS A 1321 「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格 JIS A 5414 「パルプセメント」 6.7 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.12 a) JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.11 a) JIS A 5430 「繊維強化セメント板」 10.9 a) JIS A 5905 「繊維板」 6.26 JIS A 5908 「パーティクルボード」 6.19 JIS A 6301 「吸音材料」 6.2.4 h)、6.2.6 h) JIS A 6512 「可動間仕切」 8.3.2 JIS A 6901 「せっこうボード製品」 7.11</p>
水特性試験	<p>試験方法規格 JIS A 5208 「粘土がわら」 5.4 JIS A 5402 「プレセメントがわら」 7.4、7.5 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.4、7.10 JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.4、6.6</p>
吸音・遮音試験	<p>試験方法規格 JIS A 1409 「残響室法吸音率の測定方法」 JIS A 1416 「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」</p> <hr/> <p>これらを引用する規格 JIS A 4702 「トアセット」 9.9 JIS A 4706 「サッシ」 9.7 JIS A 6301 「吸音材料」 6.2.1 e)、6.2.2 e)、6.2.3 e)、6.2.4 i)、6.25 i) 6.2.6 i)、6.2.7 g)、6.2.8 f) JIS A 6501 「建築用構成材（コンクリート壁^ハネル）」 7.3.2 JIS A 6503 「建築用構成材（鉄鋼系壁^ハネル）」 7.3.2 JIS A 6504 「建築用構成材（木質壁^ハネル）」 7.3.2 JIS A 6505 「建築用構成材（コンクリート床^ハネル）」 7.3.2 JIS A 6506 「建築用構成材（木質床^ハネル）」 7.3.2</p>

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
吸音・遮音試験	JIS A 6507 「建築用構成材（鉄鋼系床 ^{パネ} ル）」 7.3.2 JIS A 6508 「建築用構成材（コンクリート屋根 ^{パネ} ル）」 7.3.2 JIS A 6512 「建築用構成材（木質屋根 ^{パネ} ル）」 8.2.2
ボード類強度試験	試験方法規格 JIS A 1408 「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」 JIS A 5102 「天然スレート」 6.2、6.3 JIS A 5208 「粘土がわら」 5.3 JIS A 5402 「プレスメントがわら」 7.3 JIS A 5411 「テラゾ」 6.5 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.6 JIS A 5423 「住宅屋根用化粧スレート」 6.3、6.7 ----- これらを引用する規格 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.5
材料断熱性試験	試験方法規格 JIS A 1412-1 「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 ー第1部：保護熱板法（GHP法）」 JIS A 1412-2 「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 ー第2部：熱流計法（HFM法）」 JIS A 1420 「建築用構成材の断熱性測定方法ー校正熱箱法及び保護熱箱法」 ----- これらを引用する規格 JIS A 5212 「ガラスブロック（中空）」 6.6 JIS A 5416 「軽量気泡コンクリート ^{パネ} ル（ALC ^{パネ} ル）」 9.7.3 JIS A 5426 「スレート・木毛セメント積層板」 6.6 JIS A 5430 「繊維強化セメント板」 10.8 JIS A 5905 「繊維板」 6.15 JIS A 5908 「パーティクルボード」 6.18 JIS A 6901 「せっこうボード製品」 7.12 JIS A 9504 「人造鉱物繊維保温材」 6.5 a)、6.5 b)、6.5 c) JIS A 9510 「無機多孔質保温材」 6.10 JIS A 9511 「発泡プラスチック保温材」 5.7 JIS A 9521 「住宅用人造鉱物繊維断熱材」 7.4 JIS A 9523 「吹込み用繊維質断熱材」 6.1 JIS A 9526 「吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材」 6.2.6
気密・水密・耐風圧試験	試験方法規格 JIS A 1414-3 「建築用構成材 ^{パネ} ル及びその構造部分の性能試験方法」 5.7 JIS A 1515 「建具の耐風圧性試験方法」 JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」 JIS A 1517 「建具の水密性試験方法」 ----- これらを引用する規格 JIS A 4702 「ドアセット」 9.6、9.7、9.8 JIS A 4706 「サッシ」 9.3、9.4、9.5 JIS A 6501 「建築用構成材（コンクリート壁 ^{パネ} ル）」 7.3.3 JIS A 6503 「建築用構成材（鉄鋼系壁 ^{パネ} ル）」 7.3.3

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
気密・水密・耐風圧試験	JIS A 6504 「建築用構成材(木質壁 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3 JIS A 6505 「建築用構成材(コンクリート床 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3 JIS A 6508 「建築用構成材(コンクリート屋根 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3 JIS A 6509 「建築用構成材(木質屋根 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3 JIS A 6510 「建築用構成材(鉄鋼系屋根 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3
建築構成部材曲げ・圧縮・面内せん断試験	試験方法規格 JIS A 5506 「下水道用マンホールふた」 8.1
建築構成部材衝撃・硬さ・弾力試験	試験方法規格 JIS A 1518 「ト ^ア セットの砂袋による耐衝撃性試験方法」 ----- これを引用する規格 JIS A 4702 「ト ^ア セット」 9.5
床衝撃音・床鳴り防止性試験	試験方法規格 JIS A 1418-1 「建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法 - 第1部：標準軽量衝撃源による方法」 JIS A 1418-2 「建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法 - 第2部：標準重量衝撃源による方法」 ----- これらを引用する規格 JIS A 6506 「建築用構成材 (木質床 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3 JIS A 6507 「建築用構成材 (鉄鋼系床 ^ハ ネ ^ル)」 7.3.3
耐凍害性試験	試験方法規格 JIS A 5208 「粘土がわら」 5.5
機械的耐久性試験	試験方法規格 JIS A 1525 「ト ^ア セットの開閉繰返し試験方法」 ----- これを引用する規格 JIS A 4702 「ト ^ア セット」 9.4 a)
金属系材料・部品等強度試験	試験方法規格 JIS A 1523 「ト ^ア セットのねじり強さ試験方法」 JIS A 1524 「ト ^ア セットの鉛直載荷試験方法」 ----- これらを引用する規格 JIS A 4702 「ト ^ア セット」 9.1、9.2
接着剤等接着・はく離試験	試験方法規格 JIS A 5422 「窯業系サイディング」 7.7
高分子引張試験	試験方法規格 JIS K 6769 「架橋ポリエチレン管」 9.3 JIS K 6778 「ポリブテン管」 10.3 JIS K 6787 「水道用架橋ポリエチレン管」 9.3 JIS K 6792 「水道用架橋ポリエチレン管」 9.3 JIS K 6815-1 「熱可塑性プラスチック管法」 JIS K 6815-2 「熱可塑性プラスチック管-引張特性の管」 JIS K 7161 「プラスチック引張特性の試験方法-第1部：通則」 JIS K 7162 「プラスチック引張特性の試験方法第2部：型成形、押出成形及び注型プラスチックの試験条件」 JIS K 7165 「プラスチック引張特性の求め方-第5部：一方向繊維強化プラスチック複合材料の試験条件」

次頁に続く

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号
高分子引張試験	<p>これらを引用する規格</p> <p>JIS K 6719-2 「プラスチックポリカーボネート（PC）成形用材料及び押出用材料 —第1部：分類の体系及び仕様作成のための基準」表3</p> <p>JIS K 6746 「プラスチック溶接棒」7.4</p> <p>JIS K 6780 「耐圧ポリエチレン管」10.1</p> <p>JIS K 6919 「繊維強化プラスチック用液状不飽和ポリエステル樹脂」5.3.5</p> <p>JIS K 6920-1 「プラスチックポリアミド（PA）成形用及び押出用材料—第1部： 呼び方のシステム及び仕様表記の基礎」3.3.2</p> <p>JIS K 6921-2 「プラスチックポリプロピレン（PP）成形用及び押出用材料 —第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方」表3</p> <p>JIS K 6922-2 「プラスチックポリエチレン（PE）成形用及び押出用材料 —第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方」表3</p> <p>JIS K 7011 「構造用ガラス繊維強化プラスチック」5.2、5.3(1)</p> <p>JIS K 7012 「ガラス繊維強化プラスチック製耐食貯槽」9.2.2</p>
金属材料引張試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS Z 2241 「金属材料引張試験方法」</p> <hr/> <p>これを引用する規格</p> <p>JIS A 5523 「溶接用熱間圧延鋼矢板」10.2.3 a)</p> <p>JIS A 5526 「H型鋼ぐい」8.2.3</p> <p>JIS A 5528 「熱間圧延鋼矢板」8.2.3</p> <p>JIS G 3101 「一般構造用圧延鋼材」8.2.5 a)</p> <p>JIS G 3106 「溶接構造用圧延鋼材」10.2.3 a)</p> <p>JIS G 3108 「みがき棒鋼用一般鋼材」7.2.3</p> <p>JIS G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」9.2.2</p> <p>JIS G 3117 「鉄筋コンクリート用再生棒鋼」7.1.3</p> <p>JIS G 3123 「みがき棒鋼」8.3 a)</p> <p>JIS G 3137 「線径異形PC棒鋼」9.2.2 a)</p> <p>JIS G 3444 「一般構造用炭素鋼鋼管」9.2.3 b)</p>
金属材料曲げ試験	<p>試験方法規格</p> <p>JIS Z 2248 「金属材料曲げ試験方法」</p> <hr/> <p>JIS G 3117 「鉄筋コンクリート用再生棒鋼」7.1.3</p>